

新しいスポーツの祭典が、
いよいよ始まる！

SAGA2024を みんなで“支える”

待ちに待ったSAGA2024国スポが、遂に開幕の時を迎えました。多久市では弓道とスポーツクライミングの2競技が行われ、高い実力を誇る全国の選手たちが集います。

選手たちは自分の力を最大限に引き出すため、数々の努力を重ねてきました。大会ではもちろん、最高のパフォーマンスで魅了し、感動を届けてくれるでしょう。

この感動の舞台を支えてくれるボランティアをSAGA2024多久市実行委員会で募集したところ、なんと124人のみなさんが手を挙げてくれました。

記念すべき48年ぶりの地元開催。今回の特集では、大会を支える市民ボランティアと競技補助員のみなさんから、それぞれの思いを伺いました。

48年ぶりの 地元開催を喜び

SAGA2024
多久市ボランティア



かさはら よしたか
笠原 芳孝さん（西多久町）

48年前、25歳の頃に若楠国体が開催され、青年団の団長をしていたことから炬火リレーに参加しました。その思い出もあり、市報でボランティアの募集を知るとすぐに応募しました。

弓道とスポーツクライミング、それぞれ1日ずつ活動します。

多久市で2競技開催される今大会は、県外からも多くの方がいらっしゃる良い機会です。素敵な思い出を持ち帰っていただけるよう、おもてなしの心を大切に活動します。

みんなで つくり上げる



SAGA2024
多久市ボランティア



こが ともえ
古賀 友萌さん（中央校）

そのだ かれん
園田 華麗さん（中央校）

多久ランニングクラブで練習に励む友達同士です。国スポを「支える」活動の説明を聞き、周りの友達もやる気満々だったので、みんなで参加することに決めました。

私たちは普段、陸上の試合に出る側として支えられているので、支える側の経験をしてみたいと思いました。友達みんなで活動するのではなく、競技会場や日程、取り組む内容も違いますが、それぞれに初めてのボランティアを楽しくしっかり頑張ります！